

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人吉田向陽会
施設名	吉野けだな保育園
報告者（役職）	脇田 直彦（園長代行）
住所・連絡先	鹿児島県鹿児島市吉野町 3652-25
	☎ 099-201-6688
	E-mail yoshinokedanahoikuen@gmail.com

○タイトル（保育計画）

ここでしか体験できない作品づくり！キッズバレエ発表会

○主な助成備品

バレエバー、TMフロアシート（リノリウム）、リフレクスミラー（割れない鏡）×4、発表会衣装セット×23、音響セット

1. 保育計画策定の目的

本園は、「全ての子どもが適切に用意された環境に囲まれ、将来その個性をあますことなく発揮できる基礎力、即ち、たくましい体・健やかな心・広い社会性を自ら獲得していけるよう最善の援助を行う」ことを保育理念としています。

また、「教育とカルチャーが充実した保育園を作りたい」といった法人理事長の考え方のもと、モンテッソーリ教育を導入しているほか、年間指導計画に英語、空手、スイミングを取り入れ、外部講師の指導による「本物の経験」ができる環境を整えています。

今回の計画策定は、初年度の生活発表会で保育士がバレエを披露したところ、後日、保護者さまより「バレエを教えてもらうはできないでしょうか。」といったご意見をいただいたことと、お迎えの遅い保護者さまも多く、今後、降園後の子ども達の運動機会は少なくなっていくといった懸念がきっかけとなります。

運動をコントロールする能力が顕著に伸びる幼児期に、体幹やバランス感覚の向上、表現力の向上が期待されるバレエを取り入れたいという想いと、年間を通じて学んだバレエ



キッズスイミング



キッズ空手道

を、表現者として発表できる環境を用意してあげたいという思いから保育計画を策定させていただきます。

2. 具体的な実施内容

計画のタイトルである「ここでしか体験できない作品づくり！キッズバレエ発表会」の開催を明確なゴールとして設定し、練習を重ねていきました。

★3 歳児

バレエ音楽に合わせて指導者の動きを真似することで、バレエにとって最も基礎となる「音楽を聞いて体を動かす」ことを学びました。また、クラシックバレエの作法として、とても重要なレヴェランス（バレエにおけるお辞儀）を覚えました。

指導にあたっては、動きを教えることよりも、音やリズム、バレエの動きを「感じる」ことを大切にしました。

★4 歳児と 5 歳児の合同レッスン（4～7 月）

令和 3 年度は、初めてバレエに触れる 4 歳児と発表会を終えた 5 歳児が、男の子と女の子のクラスに分かれて練習を開始しました。

ストレッチではゆっくりとした動きの中で筋肉の柔軟性を高め、リズム運動では音楽を耳で聞き、そのリズムに合わせて身体を動かしていきます。また、バーレッスンでは、バレエ特有の脚と腕の基本ポジションや軸の確認、バレエステップの基礎を覚えていきます。

ボーカルもパーカッションもない音楽は、最初はリズムの取り方が難しいようでしたが、鏡の前で練習することでお友達と動きを合わせようとする姿が見られ、次第にみんなの動きが揃っていきます。



ストレッチの様子



ストレッチの様子

★発表会に向けた作品づくり（8～2月）

男の子と女の子にクラスを分けて、発表会に向けた作品づくりを始めました。最初は、振り付けをなかなか覚えることができませんでしたが、上手にできている部分を褒め、子どもの主体性、自主性、自発性を伸ばすことを大切にしながら指導していきました。できた子がまだできていない子に教える姿も見られ、やさしさや感謝、お互いを尊重し合うといった心の成長も感じることができました。



演技を確認する子ども達

「見てくれた？上手に踊ってた？」、「明日もバレエの練習がしたい！」と声をかけてくる子どもも増え始めたことから、子ども達に発表会の演目を増やすことを伝えると、全員が「やったー！」と喜び、レッスンもさらに盛り上がっていきました。

★3月のお誕生会

発表会直前のお誕生会では、初めてお友達の前で演技を披露しました。

かなり緊張した様子でしたが、舞台に立つと表情が変わり、演技に集中することができました。お兄ちゃん、お姉ちゃんたちの堂々とした演技を観たお友達の中にはすぐに真似をする子どもの姿も見られ、「自分も早くバレエを習いたい！」といった声も多くありました。



バレエを観る子ども達

★キッズバレエコンサート（令和4年3月12日 14:30～16:00）



男の子集合写真

当日は、観覧制限を設け、最小限の保護者をお招きしての発表会となりました。

最初に、普段の練習の様子として、バーレッスン、センターレッスンを観ていただきました。指導者による演技披露の間に、練習着から発表会衣装に着替え、5つの作品を披露していきます。それぞれの作品は、短いもので約1分、長いものでも2分にも満たない短い時間です。舞台裏で見せた緊張した顔は、舞台上になると変化

し、真剣な顔のまま演技する子どももいれば、雰囲気を楽しみ笑顔で演技する子どももいます。子ども達は、アイコンタクトでお友達との距離を確認しながら、決してぶつかることなく、舞台を最大限に使った演技を披露してくれます。その表情は一人ひとり違ったものですが、演技やお辞儀はしっかりと合い、とても素晴らしい作品を披露してくれました。



女の子集合写真



終了後の写真撮影会



指導者による演技披露



3. その成果と評価

発表会の演技を終えた子ども達の笑顔やガッツポーズからは、やり遂げたことに対する達成感や、やり抜いたことに対する自信を十分に感じる事ができました。

「もう練習しないの?」、「また、発表会がしたい!」と声をかけてくれる子ども達もいて、バレエの時間を楽しんでいたことがわかります。

年間を通してバレエに取り組むことで、個々の変化があったことはもちろんですが、最も感じたことは、練習の中にはたく

さんの「できた!」があり、その過程の中で一人ひとりが自己肯定感を高めていく様子が見られたことです。発表会後に保護者さまに行った無記名のweb アンケートでも、「お子様の成長を感じる事ができましたか?」という設問に対し、回答者 15 名全員が、「大変感じた」と回答しています。

バレエによる効果

- 柔軟性を高めることで、怪我をしにくい体を作る
- 表現することの楽しさがわかる
- 表現力がつく
- リズム感が磨かれる
- 音楽に対する理解が深まる
- 姿勢がよくなる
- 礼儀作法が身につく

自由記述でも指導に対する感謝の言葉や、来年度に対する期待など、温かいお言葉をたくさん頂くことができたことは、バレエ教室と同じような環境の中で、練習することができたおかげだと感謝しています。

お子さまの成長を感じることができましたか？ N=15
(キッズバレエコンサートに関するアンケートより)



■ 大変感じた
■ やや感じた
■ どちらともいえない
■ あまり感じるできなかった

アンケート自由回答 抜粋

- 通常なら、なかなか触れる機会のないバレエを、保育園で教えて頂けて本当に嬉しいです。一生懸命練習してきたという自信が、みんなの表情を見てわかりました。努力を誇れることは子供の成長にもすごく大切だと感じました。ありがとうございました！
- 今回、発表会という形で普段の練習の成果が見れてとても嬉しかったです。ありがとうございました。働いていて習い事も難しい中で、親子共々憧れのバレエを教えて頂ける環境にとっても感謝しています。ゆか先生がおっしゃってたように、バレエを通して色々なことに興味を持っていってくれたらいいなと思います。今後とも宜しく願いいたします。

4. 今後の課題と展望

今後の課題は、子ども達の表現力や感性をさらに伸ばせる体験を増やしていくことだと感じています。そのために、バレエを観る時間を設けたり、絵本の読み聞かせを増やしたりなど、五感を刺激する経験を増やし、その中で、子ども達の「感じたことや考えたことを自分なりに表現したい」というサインを見逃さず、身体を動かすこと以外の表現の仕方についても学べる環境を整えていきたいと思っています。

今後の展望としては、祖父母等を含めたたくさんの方に観ていただけるよう、大きな舞台を用意してあげたいと思います。また、コロナ禍でなかなか実現できていない地域との交流においても、子ども達の作品を披露する機会を探していきます。

最後に、子ども達も保護者も、そして私たち保育者もワクワクする機会を提供していただきました第一生命財団様に心より御礼申し上げます。

助成いただきました備品は、大切に使用させていただき、本園の新たな文化として未来の子ども達に引き継いでいきたいと思っています。

以上